

工業蒲田

所 目 番 8 号
 行 田 1 丁 29 番 8 号
 発 区 蒲 田 (3732) 7821 (代)
 東 京 都 大 田 区 蒲 田 工 業 協 同 組 合
 電 話 (3732) 7821 (代) 組 員 会
 蒲 田 編 集 協 同 委 員 会
 機 田 編 集 協 同 委 員 会
 野 刷 所 目 番 1 号
 印 田 区 中 央 8 丁 目 5 番 1 号
 東 京 都 大 田 区 中 央 8 丁 目 5 番 1 号
 城 南 印 刷 中 央 株 式 会 社

謹賀新年



平成 25 年 元旦



真田幸光氏

自らの立ち位置を見極める

愛知淑徳大学教授

真田幸光氏講話より

昨今の国際情勢は一言で何かという
 と「混沌」この言葉に尽きます。
 毎年、為替相場の動きをきちんと当て
 ている男たちが円高になるか円安にな
 るか、今年はやらない。驚きなのは
 基軸通貨米ドルが違う通貨に代わるか

年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合

理事長 荻野 茂



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 組合員並びに木鶏会の皆様にはお
 健やかに新年をお迎えの事と心から
 お慶び申し上げます。

昨年はロンドンオリンピックが開
 催されました。柔道は残念な結果で

したが、水泳、サッカー、レスリ
 グ、フェンシング、ボクシング等沢
 山の競技で日本選手が活躍し、感動
 と元気をもらいました。
 又、スケートのGPファイナルで
 は浅田真央選手が金メダルに輝き復
 活を印象付けました。

若い世代の活躍が印象的な一年間で
 した。

潜在能力のある者が、不断の努力
 と研鑽を積み、怪我やプレッシャー
 を克服し、その力をいかに発揮
 した結果だと思えます。

二〇一三年も「混沌」の年ではあ
 りますが、潜在能力を活かし、アク
 ティブな一年間にしたいと思ってお
 ります。

組合運営は昨年、エアコン設備、
 水道等の老朽代替、改善等を行ない、
 省エネ、水質向上が図れ、「ものづく
 り企業の会館」として誇れるものに
 なりました。
 今年も組合事業の推進と、木鶏会
 と協力し、より良い運営に努力して

目次

- 「年頭ご挨拶」 ①
- 「真田幸光先生講話」 ④
- 「組合員だより」 ④
- 「業務報告」 ⑤
- 「掲示板」 ⑤
- 「木鶏会々長ご挨拶」 ⑤
- 「木鶏会の活動」 ⑥
- 「奥州市復興支援視察記」 ⑥
- 「年賀広告」 ⑦

⑦
⑧
⑥
⑥
⑤
⑤
④
④
①

参ります。

最後になりましたが、組合員並び
 に木鶏会会員の皆様の引続きの指
 導、ご協力をお願い申し上げます。新
 年のご挨拶といたします。

もしれないと言っているのです。

世界中どこにいても、ものやサービスと交換の出来る通貨、米ドルから違う通貨に代わるとなれば、ビジネスの国際的なスタンダードが変るわけです。

今、国際社会のビジネスが停滞している一つの背景には、基軸通貨が代わるかもしれないということが、大きな影響を与えてきているのが我々の認識です。

ずっと世界の経済はG7といわれてきました、ところがアジア通貨危機を越えて、2000年近くになってくるとBRICsという名前がでてきます。ブラジル、ロシア、インド、中国という新興国が世界に入ってきました、彼らが世界の経済の中に入ってくる最大の背景は人の数です。潜在的な経済力も多い、だからマスのビジネスをしている人達は、このBRICsにすり寄って行く訳です。日本の大企業も行かざるを得ない状況になっている訳です。世界の情勢はG20が中心になっていく訳です。表向きはそうなのですが、その後にはG20ではないだろうと、実はG2だろう、アメリカと中国が世界経済を動かしている、との言い方をしている人も中にはいます。

いずれにしても、G20あるいはG2と中心だったのがついこの間だったのです。

今年に入ってから全然違う言い方を始めているこの混沌の中で、それがG0ガバメントオブゼロ。誰もリーダーシップをとらない、だれも世界のリーダーシップをとれない、と

りたい、けれどとれない。ルールメイキングをする人もいない、ルールメイキングするどころか、今迄のルールすら崩れてしまっかも

りたくない、世界は無極化の時代に入りましてどうやらに転ぶかわからない。だから混沌なのです。

私は混沌をむしろチャンスだと思っています。自らの立ち位置がどこにあるかわかった人が、人より先に一步を踏み出せる訳です。やるべきことは何かという、原点回帰、即ち自らの立ち位置をしっかりと見極めるといことが一番重要な事かと思えます。

自らの立ち位置を見極めるために世界全部を見廻して、皆様方の企業は必要なもの、必要なサービスを提供されているかどうか今一度確認下さい。これが「点目」。

2番目は何かと申しますと、皆様方のような企業と同じような企業があるのかないのか、あるとしたらそれはどこにあるのか、そして3番目は世界全部を見廻して皆様方のお力を一番高く評価してくれている人は誰ですか、ということを確認して頂きたい。

一番の理想は何かと言うと、3点セットを確認出来ること、ウチしか出来なければ為替は関係ないでしょう。建値は、ウチの言い建値で出来るはず、ドルが欲しい時はドル、円が欲しい時は円、そうです、価格もそれでやっていけるはず、ですから、デフレ、インフレは関係ないでしょう。為替相場に関係なく生き残れる状況をいち早く作っていくことが、

一番のポイントだと思えます。

今世界のGDPの規模、2012年の9月ですが、多分70兆ドルくらいまで膨らんでいると思います。70兆ドルだとしましょう。それに対して、今、国際金融市場でお金が流れているフローでリールされている金額はそれの約20倍あるのです。スワップとかオプションとかお聞きななことがあと思っています。派生商品デリバティブというのです。

このデリバティブの市場で扱われている金額は500兆ドルあるのです。4京円です。考えられないです。GDPが70兆ドル、それに対して500兆ドルのお金が派生商品のマーケットで扱われているのですから、明らかにバブルになっている訳です。

実体経済を振り廻してしまような状態です。犬が尾っぽを振るのじゃなくて、尾っぽが犬を振る。本末転倒が今の国際情勢なので

2008年にリーマン・ショックでそんなのは一旦潰れた訳です。その時に実体経済の皆様にも返り血が飛んでいるのです。それは何かというと、本来は、消費してはいけない人が、消費していたということ、皆様方の売上高を支えてきた訳です。その部分が当然減る訳です。皆様方とこの売上高も落ち

るとい訳です。ちょっと今大変だから助けてよ、ということで政府にお願いをする訳です。政府は財政出動を伴う景気対策を打つ時に自分の国の金庫にお金があればいいんですが、お金がない訳です、それをカバーするために借金をする、借金をする時に国債です

今年、どういような状況になったかはギリシャの国債を初めとして、PIGS(ポルトガル、イタリア、ギリシャ、スペイン)の国債を持っている人たちが、このPIGSの国債を売りに出ます。これを持っていると不良債権になるかもしれないということで売りに出る訳です。皆がちよっと危ないなと思っ

ているか。答えは簡単です。イギリスとフランスとドイツとスイスの金融機関と、その後にいる投資家たちがこのPIGS債券を持っているのです。この4つの国の金融機関というのは、ヨーロッパという大きな図体のお金という血を流す心臓な訳です、その心臓が小さく萎んだ訳です。ヨーロッパ地域はお金が流れ出ないという問題が発生し、貸し渋りと貸し剥しを引き起こす訳です。

皆さま、お気づきだと思つのですが、国際的な外国為替市場というのは、相对比较で通貨の価値を決めているのです。今ですと円、

と

と

と

と

と

ドル、ユーロという3つの通貨の相対比較で力関係です。今年の2月迄どうして円が買われてきたかという点、最大の背景は日本が債権国で経常収支の黒字国、又金払いがいい、即ち信用力が高いことで日本円は買われていく訳です。ところが今年の2月、2011年の貿易収支が赤字になりました、そしてその結果として、経常収支は赤字でしたが、ごく金額が減りました。

黒字額が減りました。それに続き、追いかけるように2012年の1月、単月ベースで赤字になったのが、円を売る背景です。ところが、今年の5月に入ると、これと全く正反対のことがおこるのです。買われる環境に戻ったのです。2月、3月、4月と日本の経常収支が単月で黒字に戻すのです。債権国としてということ、5月に入ってヨーロッパやアメリカが悪化する中で、又、再びドル、ユーロが売られて、円が買い戻されるといふことが起って、そして円が買い戻される段階で世界のおふれたお金がザッと、円を買いながら入ってきて、今、塩漬けにされているという状況で考えて下さい。それが78円、79円、こういう昨今のレベルだといふふうに考えて下さい。ですから今、塩漬けにされているのです。他の材料がないのですから動けないのです。本当はマーケットは動きたいのです。為替相場でマーケットは大きいですが、みんな同じ方向で見ているので儲からないのです。だから、本当は違う市場にもお金を移し

てガバット、厚いマージンで儲けようと思っているところなんか動かせないのです。

混沌だから、どうなるか分からないから。逆に言うと、もしも米ドル基軸が戻るといふことが確定してくれば、マーケットはそれで塩漬けにしたお金を少しずつ外国為替市場から違うところへ移すっていうことをして来る可能性がありますが、もしそうになると、何処へ20倍もあぶれているお金が戻ってくるか、まず、最初はやっぱり原油価格だと思います。

エネルギー価格。それから、当然原材料の価格、これもやはり上がってくるでしょう。だから円安に戻してくるような状況が起って、日本企業にとってみれば、特にものづくりに企業にとって、良い状況になるかもしれないですが、その段階では今度は逆に、エネルギー資源の価格が上がるのではないのか、そんな見方です。人々が生きていくために必要な市場、水、原材料、エネルギー資源、食糧。この4つの市場を巡って、あぶれたお金は流れ込み易くなる。このように考えていただきたいと思えます。

テールリスク

何が起るか分からない。でも、起る可能性は低いかもしれないですが、起ったら大事になる、ということに対して、皆様方は今迄以上にお心を配って頂きたいと思えます。

これは我々の世界ではテールリスクといいま

す。尾っぽのリスクといえます。今の社会では個人も企業の経営者も国のリーダーたちも考えなくてはいけない時代です。

ドル基軸が変わるなんていうのは、我々の常識からすると、100%起らないといふてもいい位の感覚で、この30年間、私は国際金融市場で仕事をしてきたのです。

ところがひょっとしたら起るかもしれない、起ったら大変革になるということを感じるような今の世の中だ、ということをご様方も感じて頂きたいです、皆様方の世界でも今迄はこんなこと起るはずのない、今迄の常識から考えてそんな事起るはずがないような状況の時代ですが、ひょっとしたら起るかもしれないというものを、もしかしたら心の中でひっかかっているものがあるかと思うのです。そのことについてはちょっと注意を払ってください。それが経営者としてのリスクヘッジをして頂く上で大事なことだと思えます。

そういう意味でテールリスクということをご考えた時に、日本の問題、心配なことがあるのです。それは何かと云うと、国債の問題です。今、世界は財政問題を中心としたヨーロッパ危機で揺れている訳です。これは何故それが表面化したかという点、ヨーロッパの銀行がポンコツの国が発行した国債をたくさん食べた。それによってその国債がポンコツだった故に価値が下がって、結局、融資や投資が出来ないような状況、貸し渋りを引き起

こしてしまつたのです。ですから今、ヨーロッパの銀行に対して、当局は何をしようとしているか、それはポンコツの国が発行した国債は持つなど、規制をかけようとしているのです。デキレーションを作ろうとしているのです。未然にポンコツの国が発行した国債なんかを持つてはいけないということを知らしめようとしているのです。今現在直ぐにそれをやろうとはしません。今やってしまったのは、まだ持っているのですから、ポンコツの国の国債を。

今やってしまったら、ヨーロッパの銀行は軒並み死んでしまいます。今はやりません。状況が少し落ち着いてきて、私がみるところ早ければ2・3年後にそういった事をデキレーション規制してくると思えます。

皆さん日本国はどういう国ですか？ポンコツの国になります。残念ながら。

経常歳入と経常歳出の差が、今現在でも22兆円も赤字な訳です。いわゆるプライマリーバランスがマイナスです。しかも借金で借金を返す部分というのが同じく22兆円あって、44兆円も大赤字な訳です。こんな悪い国は世界でもあまり類をみない程悪い訳です。



日本はボンコツの国に分類されてしまうのです。BIS (国際決済銀行) が国債評価の新しいルールを作ろうとしています。日本国債は機関投資家といわれる金融機関がほとんど持っていて、その金融機関にBISのリスクウエイトが適用されると、日本国債を持っている人の資産規模が、ストンと落ちるかもしれないとイメージして頂きたいのです。日本の投資家が、日本の国債を売って暴落が起こり得るかもしれない、そのルール変更は早いと2・3年後にあるかもしれないのが私の見方です。

今後のビジネスの目指すべき方向

最近の日本のビジネス界の動きの中で面白いことを紹介します。前から申し上げている通り、もうマスのビジネスの時代、日本はそうではないかと。大量生産、大量販売でビジネスをやっている人たちは、マニュアル化出来る技術にして、どんどん、魚が泳いでいるところへビジネスを拡大していく。だから大企業はもうそれをやらざるを得ないのです。今で言えば潜在的な消費者の数、潜在的な労働者の数が多い中国、インド、ロシアもそうだし、ブラジルもそうだし、アジアで云えばインドネシア、こういったところへどんどん出て行く、ということをやっている訳です。そつやらざるを得ないでしょう。売上高は例え同じであっても、利益率を上げていく方向

へどんどん向かって動いていった方が、たぶん経営としては安定してくると思うのです。ですから量より質に向かって、日本の企業は大きく、やはり舵を変更していくべきじゃないか、又、日本の中堅、中小企業は技術力に支えられた「少量、多品種、高品種、高利潤」を目指していくべきじゃないかと思えます。マスのビジネス即ち、マニュアル化出来るビジネスではなく、きちんと手作業で人の手が入る、日本人にしか出来ないようなビジネスを残しながら、利益率を上げるようなビジネスにしていくことが、マージンを高くしていく方向ではないかと思つてます。

マニュアル化出来ない技術をしっかりと残していくということが非常に重要ですし、マニュアル化したって真似は出来ない所は残していくべきだと思えます。ですから、皆様方の事業ポートフォリオをご覧頂きながら、この部分はもうマスでいくけれども、ここだけはウチだけしかできないようなものとして残すという、事業ポートフォリオの洗替えと見直し、こういうものを一度やって頂くのが、非常に今重要だと思えます。それをおやりになつていらつしやるところは業績が急激に改善されていると私は見ているのです。皆様方の技術を海外で評価してくれているかを、自分の肌感覚で調べるのです。一番いいのは展示会を見て頂くことです。更に展示会に行つて、世界の中でどう評価をされているか、肌感覚で立ち位置を調べるのが重要

だと思えます。自社の製品を最も正当に評価してくれる企業に販売していくことを志向し、高利潤を確保していく努力をしていくべきです。

混沌の時代ですから何が起るか判らない。借金を持っていたならば、日本人は皆さん帰されますから。潰れてしまつかもしれないですから。混沌の時代にはなるべく借りない方が良いでしょう。

それからもう一つは、デフレと言う事は将来通貨の価値が落ちて行くわけですから、そういう時にお金を借りてはいけない。将来の返済負担が増えますから。

皆様方のご経営の中で、色々な事をやりながら利益率を上げて頂く、皆様方の企業を存続させる様な売上高をイメージして頂きながら、少しずつ利益率を上げて頂く方法はどのような所か、と言つのを考えて頂くところではないかと思えます。

この混沌の時代、まさにそういうプロの経営、知恵を使った経営と言うのが、勝負を分けるのではないのかと、最近感じたりしています。

私のお話はこれで終りにさせて頂きます。どうも有難うございました。



組合員だより



本社移転・新築

(株)タムラエンジニア

五月に東糞谷六丁目のOTAテクノCORE 101に移転しました。

(株)瀧口製作所

十一月に本社ビルを新築しました。

代表者変更

株式会社 三栄精機工業

新代表者 今田 悠

計 報

望月 桂子様

有限会社望月塗工研究所代表取締役 望月直人氏のご母堂 望月桂子様はご逝去されました。謹んでご報告申し上げますと共に、ご冥福をお祈り致します。

藤原 徳一氏

株式会社藤原製作所代表取締役社長 藤原徳一様はご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

坪根 郁様

株式会社弘機商会代表取締役会長 坪根郁様はご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

業 務 報 告

一月十一日

1 新春講演会

講師 京都大学教授 中西輝政氏

テーマ 混沌続く日本の出口を探る

2 新春賀詞交歓会



中西輝政氏

四月二十六日

常任理事会

1 平成二十三年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件

案承認の件

全員異議なく承認

2 平成二十四年度事業計画案・収支予算案承認の件

案承認の件

3 平成二十四年度借入最高限度額決定の件

一組員員に対する貸付最高限度額決定の件

手数料最高限度額決定の件

全員異議なく承認

4 役員報酬決定の件

全員異議なく承認

5 任期満了に伴う役員改選の件
全員異議なく承認

四月二十六日

理事会

議題は常任理事会上程のもの

全員異議なくこれを承認

五月十五日

1 平成二十四年度通常総会

可決事項全員異議なく諒承

2 講演会

講師 国際エコノミスト 金森薫氏

テーマ 日本経済と世界経済の今後の

展望（TPPの影響をどう見るか？）

3 懇談懇親会

六月二十六日

常任理事会

1 中央会全国大会の件

全員異議なく承認

七月十九日

定期健康診断の巡回

九月十日

常任理事会

1 賀詞交歓会の件

2 「工業蒲田」の件

全員異議なく承認

十一月十三日

常任理事会

1 組合総会の日時及び講師の件

全員異議なく承認

十一月二日

十五年以上勤続優良従業員に対して区長から感謝

状贈呈（社名五十音順 敬称略）

（株）東京精密器具製作所

齋場誉憲、薄衣和彦、小宮由紀夫、戸松敏、

望月登志子、宮島章一

（株）松原製作所

牛澤栄、長島俊雄、真島昇吾



年末・年始事務取扱のお知らせ

年末・年始の組合事務局の事務取扱日は

左記の通りとさせていただきます。

記

年末 十二月二十八日（金）まで

年始 一月七日（月）から

第15回「春の音楽祭」ザ・パーティー

THE PARTY 2013

2013年 3月2日（土）開場16:00 開演16:30

大田区産業プラザPiO 4Fコンベンションホール

主催:大田工業連合会青年部連絡協議会

前売券 2,500円

事務局 (TEL 3732-7821) までご一報下さい。

木 鷄 会 々 々 長 ご 挨拶



会長

望月直人

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は会員の皆さまに御協力をいただき、経営サロン、講演会、工場見学などいろいろと勉強出来たことに感謝致しております。

工場見学においては震災後の岩手、宮城を中心に復興の過程や、まだまだ災害のつめあとが残る所を見学して、深い絆のもとで日本人が力を合わせなければいけないと考えさせられました。

今年度も皆様と一緒に会員どうしの絆の基、それぞれの会社にとって、プラスになるよう、情報交換だけではなく新しい形での勉強会ができるように考えていきたいと思っております。

木鷄会は二十代から八十代と幅広い会員のいる会として変革して行く社会の中でいろいろな角度からきめのこまかいクオリティーを高めて行ける会です。

今後とも会員の皆さまと歴史と経験と変革を作っていくしたいと思います。



木鶏会の活動

一月十一日

1新春講演会

講師 京都大学教授 中西輝政氏
テーマ 混迷続く日本の出口を探る

2新春賀詞交歓会

二月十四日

正副会長会議及び定例経営サロン

1平成二十三年度決算報告について
平成二十四年度予算案について
全員異議なくこれを諒承

2総会開催日並びに講演会講師について

3定例経営サロン 森田淳士氏担当

講師 吉田税務会計事務所 吉田昌幸先生

三月十三日

1木鶏会総会

2講演会

講師 ジャーナリスト 大高美貴氏

テーマ 2012年激動の世界をサバイバル！

3懇談懇親会

四月十日

定例経営サロン 望月直人会長担当

四月十一日

大田工連青年部連絡協議会総会

五月八日

定例経営サロン 増田副会長担当

六月二日

懇親ゴルフ会開催

場所 木更津ゴルフクラブ

六月十二日

東京スカイツリー見学

懇親会

六月二十日

大田工連青年部連絡協議会引継ぎ研修会

七月六日・七日

1工場見学

見学先 (株)妙徳 岩手事業所



(株)妙徳岩手事業所 視察



岩手県知事からの感謝状

七月二十八日

大田工連青年部連絡協議会納涼会

九月十日

定例経営サロン

講師 愛知淑徳大学 真田幸光教授

テーマ 混沌の国際情勢と日本

九月二十六日

大田工連青年部連絡協議会講演会

十月九日

定例経営サロン 斉藤副会長担当

講師 伊原毅事務所 伊原毅氏

テーマ 労働基準法について

十一月三日・四日

大田工連青年部連絡協議会 大田フェスタ

十一月十三日

定例経営サロン 海老名副会長 担当

十二月十一日

忘年会

会場 フランス料理 シェ・リュウ

十二月十九日

大田工連青年部連絡協議会忘年会

奥州市復興支援視察記

七月六日に木鶏会会員一行は、(株)妙徳岩手事業所を視察しました。

翌七日は気仙沼沿岸地区を視察後、狛鼻峡から中尊寺、毛越寺に足を伸ばしました。

(株)妙徳岩手事業所では、搬送、自動組立機、ロボット、プレス機などの真空吸着装置の真空源に利用され、省力化、自動化に

貢献しているコンバム(真空発生器)の完成する迄の工程を視察しました。

(株)妙徳さんはメーカーとして新しいモノを追求する事や、業績についても全てが公開されており、次に何をすべきかを社員一同、同じ目線で考えていました。又、中森社長から今後の経営方針は、アジア事業を拡大させたいとのお話がありました。

今回の訪問時には、(株)妙徳さんを通して岩手県に震災義援金を贈りました。後日、岩手県知事から組合に感謝状を頂きました。

気仙沼沿岸地区は以前には、住宅や商業施設が有った場所が跡形も無い状態や、有っても骨組みしかない建築物又、陸地に船が打ち上げられたり、塩害で木々が枯れている光景を目の当りにして、改めて被害の大きさを感じました。地盤沈下の影響で漁業、水産加工業は復興途上でした。一日も早く復興出来ることを願わざるを得ませんでした。

世界文化遺産の平泉の中尊寺は、平安時代の藤原清衡が造営した金色堂や本堂を見学して、歴史の重みを感じ、当手を偲ぶことが出来ました。

今回の奥州市復興支援視察は、現地を訪問して理解出来たことは非常に有意義な旅となりました。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



蒲田工業協同組合

(五十音順)

尼寺空圧工業株式会社

尼 寺 実

株式会社新井久四郎鉄工所

新 井 陽 一

イーター電機工業株式会社

北 川 浩

有限会社梅津製作所

遠 藤 浩 樹

株式会社エヌシーネットワーク

内 原 康 雄

株式会社エヌエスシー

村 岡 純 一

荏原工業株式会社

長 井 俊 樹

エビノ電化工業株式会社

海老名 伸 哉

株式会社大谷造機所

大 谷 文 雄

岡田鋳金株式会社

増 田 道 造

金勝産業株式会社

金 勝 恒 男

有限会社川村製作所

川 村 有 史

株式会社気球製作所

豊 間 清

株式会社極東精機製作所

鈴 木 健 一

京浜技研工業株式会社

山 下 政 和

有限会社京浜プレス工業所

斉 藤 喜久雄

株式会社弘機商会

高 原 隆 一

株式会社浩伸技研

森 田 淳 士

佐々木発條株式会社

佐々木 毅 彦

株式会社サタコ

青 沼 三 郎

産業医・医学博士

佐 藤 精 一

株式会社三栄精機工業

今 田 謙

株式会社三協アルマイト

岩 崎 登喜雄

杉谷金属工業株式会社

杉 谷 宗 弘

有限会社須藤製作所

須 藤 敏 男

第一金属工業株式会社

菅 谷 義 弘

太産工業株式会社

千 葉 泰 常

大志工業株式会社

沖 山 裕 夫

謹 賀 新 年

蒲田工業協同組合

(五十音順)

顧問 西ヶ谷 勝美

相談役 増田 道造

理事長 荻野 茂

副理事長 大谷 文雄

副理事長 田村 知之

専務理事 長井 俊樹

常任理事 須藤 敏男

常任理事 望月 直人

理事 新井 陽一

理事 飯室 肇

理事 岩崎 登喜雄

理事 加藤 進弘

理事 斉藤 喜久雄

理事 菅谷 義弘

理事 鈴木 健一

理事 竹内 榮多

理事 鳥海 保男

理事 野口 広

監事 佐々木 毅彦

監事 高原 隆一

監事 宮澤 章

事務局長 沢登 正彰

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



蒲田工業協同組合

(五十音順)

大進精機株式会社

宮田 実

大成工業株式会社

鎮目 哲郎

株式会社瀧口製作所

瀧口 利彦

株式会社タムラエンジニア

田村 知之

株式会社タンケンシーラセーコウ

渡邊 敏廣

ティヴィバルブ株式会社

竹内 榮多

株式会社寺岡精工

寺岡 和治

同和発條株式会社

川嶋 治彦

東亜株式会社

小柳 優

株式会社東京精密器具製作所

西ヶ谷 邦夫

株式会社東京ハードフェイシング

吉田 裕二

有限会社巴精工所

武市 孝雄

株式会社鳥海製作所

鳥海 哲司

株式会社中谷機械製作所

中谷 和彦

永森電機株式会社

永森 忠臣

南旺工業株式会社

林 隆史

株式会社日産電機

中村 國男

株式会社日章機械

小林 章彦

日本チエン・ギヤー

無段変速機株式会社

加藤 進弘

株式会社羽田パイプ製造所

野口 広

有限会社早崎製作所

早崎 吉春

深尾精機株式会社

中井 富士夫

富士馬鋼業株式会社

宮川 正雄

有限会社富士精機製作所

荻野 茂

株式会社富士テクノマシン

飯室 肇

株式会社藤原製作所

藤原 康明

株式会社文化精工

桑原 久直

株式会社マコメ研究所

新井 栄作

株式会社マサオプレス

宮澤 章

有限会社松原精機製作所

松原 栄一

株式会社松原製作所

松原 一喜

三津浜工業株式会社

富岡 恵子

睦化工株式会社

古川 亮一

有限会社望月塗工研究所

望月 直人

有限会社師岡飯金製作所

師岡 正雄

株式会社ユーアイテック

打田 正隆

株式会社ユタカ製作所

石崎 昌義



HACCP 高度化基準認定工場

となんのお料理をどうぞ

都南工業給食協同組合

大田区南六郷三ー十五ー一

TEL 三七三二ー七四五一 (代)